

柏崎市の環境

—令和 4 (2022) 年度版—



柏崎市谷根に咲くハナモモ



柏崎市

柏崎市の環境 -令和4(2022)年度版- 目次

柏崎市環境基本計画 第3次計画 令和3(2021)年度報告

基本情報・基本目標・取組の方向性	1
基本目標1 地球温暖化対策の推進	2
基本目標2 資源の有効活用	5
基本目標3 美しい自然と生活環境の維持保全	8

柏崎市地球温暖化対策実行計画 令和3(2021)年度報告

第1章 区域施策編(市域の温室効果ガス排出量)	14
第2章 事務事業編(市の事業からの温室効果ガス排出量)	21

※柏崎市地球温暖化対策実行計画は令和4(2022)年1月に改訂しましたが、
今回の柏崎市の環境では、改訂前の数値目標を引用しています。

環境マネジメントシステム(かしエコ)編 令和3(2021)年度報告

1 柏崎市の取組	22
2 組織図	22
3 環境取組方針	23
4 環境目標	24
5 実績	25
6 その他の実績	27
7 市の事業における環境活動の評価	28

柏崎市環境基本計画 第3次計画 令和3（2021）年度報告

【基本情報】

計画期間	令和元（2019）年度～令和10（2028）年度
基本理念	健全で恵み豊かな環境を保全し良好な状態で将来世代に継承する
望ましい地域像	自然と人の営みとの調和 ー現実を見つめ、理想を求める柏崎ー

【基本目標・取組の方向性】

基本目標	取組の方向性
1 地球温暖化対策の推進	(1)温室効果ガス排出量削減に向けた取組の推進
	(2)温暖化対策に関する意識の醸成
2 資源の有効活用	(1)廃棄物の発生抑制・再使用・再生利用(3R)活動の推進
	(2)廃棄物の適正処理の推進
3 美しい自然と生活環境の維持保全	(1)美しい自然環境の維持保全
	(2)不法投棄の防止と環境美化の推進
	(3)公害防止対策の推進



緑のカーテンプロジェクト

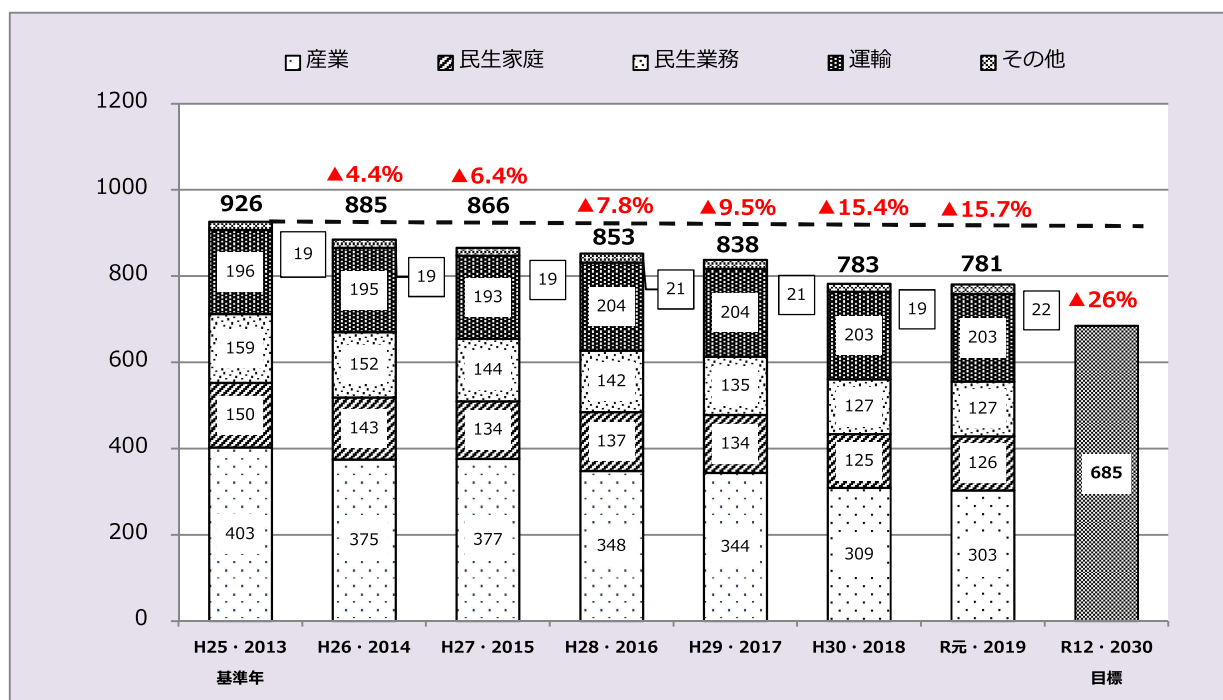
●基本目標1 地球温暖化対策の推進

取組の方向性(1)温室効果ガス排出量削減に向けた取組の推進

【目標指標】温室効果ガス排出量

基準年度値	目標値	実績	前年度実績
H25(2013)年度	R12(2030)年度	R元(2019)年度	H30(2018)年度
926 千 t-CO ₂	685 千 t-CO ₂ 基準年度値▲26%	781 千 t-CO₂ 基準年度値▲15.7%	783 千 t-CO ₂ 基準年度値▲15.4%

※国や県が公開しているエネルギー活動量や市の人口等で案分し、算出しているため実績年度が3年前のものになります。



柏崎市の温室効果ガス排出量 (単位：千 t-CO₂)

※柏崎市の各分野の活動から排出された温室効果ガス（主に二酸化炭素量）の推計値。

本市の特徴として、産業分野からの温室効果ガス排出量割合が多い。事業所等における再エネ設備導入や施設の省エネ化を継続的に推進する必要がある。

市民や事業者に対して、低炭素型省エネ・創エネ設備機器設置の補助金や、啓発事業を行っている。公共施設においては、再生可能エネルギーの導入検討などを行い、温室効果ガスの削減目標達成に向けて、柏崎市地球温暖化対策実行計画を中心に引き続き取組を推進していく。

【施策方針】令和3(2021)年度の取組・実績

○再生可能エネルギー・次世代エネルギーの活用・産業化の促進

令和元(2019)年度から設立準備を進めてきた地域エネルギー会社「柏崎あい・あーるエナジー株式会社」を、市及び民間事業者合わせて9者による共同出資で設立した。また、会社の設立を機に、積極的かつ継続的に脱炭素エネルギーの活用を推進するため、脱炭素エネルギー利活用の促進に関する条例を制定した。(電源エネルギー戦略室)

○建築物の省エネ改修や高効率機器の普及促進

- ・家庭や事業者に対して、創エネ・省エネ機器設置の補助金を23件交付した。(環境課)

区分(単位:件)	年度	H30(2018)	R元(2019)	R2(2020)	R3(2021)
燃料電池設備		9	11	12	13
ガス発電・給湯暖房設備		0			
地中熱ヒートポンプ空調・給湯設備		0	0	0	0
木質バイオマスストーブ		9	7	4	4
HEMS+蓄電池		0	2	5	2
太陽光発電設備+HEMS+蓄電池		5	2	6	4

- ・市営半田住宅A号棟の照明をLED化し、断熱性の高い建具に改修した。(建築住宅課)
- ・消防本部・署の空調を地中熱利用空調に改修した。(建築住宅課)

○次世代自動車の普及促進、公共交通機関の利用促進

・市内ディーラーを訪問し、電気自動車購入検討者に補助金の周知を行うよう依頼することで、補助金活用を促した。結果、電気自動車4件、PHV4件を交付した。(環境課)

区分	H30(2018)年度	R元(2019)年度	R2(2020)年度	R3(2021)年度
交付件数	11	15	2	8

- ・路線バス等の利用促進事業を以下のとおり実施した。(企画政策課)
 - ・路線バス高齢者割引制度の実施(8,697綴り)
 - ・高校生等路線バス通学割引キャンペーンの実施(回数券販売数量:500綴り)
 - ・園児による市街地循環バス車内音声アナウンス収録することで、地域の公共交通として市民の愛着を高め、より一層の利用促進に努めた(柏崎保育園・比角保育園)

取組の方向性(2)温暖化対策に関する意識の醸成

【目標指標】環境教育受講者数

基準値 H29(2017)年度	目標値 R10(2028)年度	実績 R3(2021)年度	前年度実績 R2(2020)年度
744 人	現在値より増加	558 人	409 人

【目標指標】ECO2 プロジェクト参加登録事業者数

基準値 H29(2017)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R3(2021)年度	前年度実績 R2(2020)年度
234 事業者	300 事業者	230 事業者	232 事業者

【施策方針】令和 3(2021)年度の取組・実績

○市民・事業者に向けた温暖化対策の意識啓発の推進

- ・市内小中学校 3 校 104 人に対して、環境教育プログラムを実施し、温暖化の基礎知識や私たちにできることに関する授業を行い、「温暖化対策を実践する」きっかけとなるよう行動を促した。（環境課）
- ・市内保育園 7 園 441 人に対して、エコ教室を実施し、簡単なクイズを行うことで環境保全に対する意識の醸成を図った。（環境課）
- ・地球温暖化に関する問題や市の取組を話すふれあい講座を 1 件 13 人に実施し、温暖化問題の理解促進に努めた。（環境課）
- ・ECO2 プロジェクトの登録事業者について、登録事業者間での合併があり、登録事業者数は 2 社減少した。活動実績として、地域の海岸清掃に 14 事業者が参加し、きれいな海の保全に努めることやノーマイカーウィークを実施し、車から排出される二酸化炭素を 7.6 t 削減した。（環境課）
環境活動によって貯めたポイントで 13 件の対象設備・物品について、483,029 ポイント分の購入補助を行った。（環境課）



エコ教室の様子

●基本目標 2 資源の有効活用

取組の方向性(1)廃棄物の発生抑制・再使用・再生利用(3R)活動の推進

【目標指標】ごみの総排出量

基準値 H29(2017)年度	目標値 R7(2025)年度	実績 R3(2021)年度	前年度実績 R2(2020)年度
28,683 t	24,712 t	26,732 t	26,777 t

【目標指標】1人1日当たりのごみの排出量

基準値 H29(2017)年度	目標値 R7(2025)年度	実績 R3(2021)年度	前年度実績 R2(2020)年度
928 g	869 g	919 g	905 g

【目標指標】リサイクル率

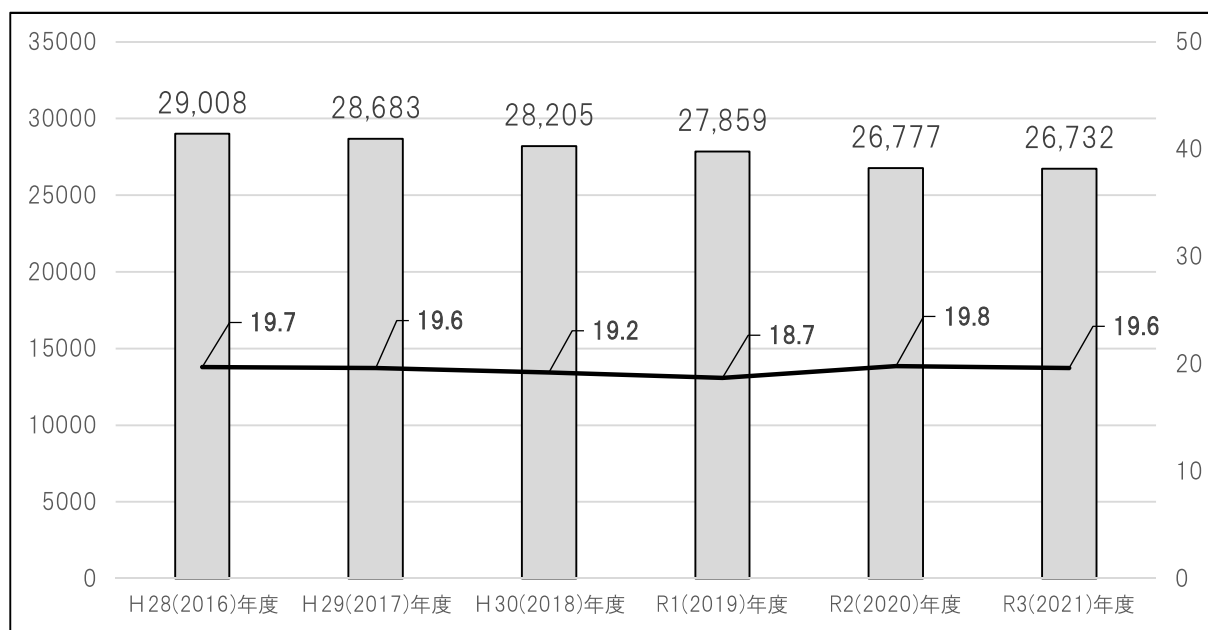
基準値 H29(2017)年度	目標値 R7(2025)年度	実績 R3(2021)年度	前年度実績 R2(2020)年度
19.6%	23.1%	19.6%	19.8%

ごみの排出量とリサイクル率の推移

区分 \ 年度	H29(2017)	H30(2018)	R元(2019)	R2(2020)	R3(2021)
燃やすごみ (t)	22,036	21,757	21,494	20,413	20,379
燃やさないごみ (t)	661	637	666	583	591
粗大ごみ (t)	375	396	479	472	514
資源物 (t)	5,611	5,415	5,220	5,309	5,248
合計	28,683	28,205	27,859	26,777	26,732
リサイクル率	19.6%	19.2%	18.7%	19.8%	19.6%
年度末住民基本台帳人口(人)	84,671	83,504	82,284	81,071	79,668
年度末世帯数(世帯)	34,817	34,800	34,785	34,884	34,800
1日当たり排出量 (t)	79	77	76	73	73
1人1日当たり排出量(g)	928	925	925	905	919

※燃やさないごみ、粗大ごみは、施設再回収金属を除く

※資源物は、施設再回収金属を含む



ごみの総排出量とリサイクル率の推移 (単位：t、%)

ごみ・資源物全体の排出抑制と分別の徹底を、広報・ホームページ・ふれあい講座等で啓発を行った。

ごみの総排出量は減少傾向にあるが、リサイクル率は、ペットボトルやプラスチック製容器包装の軽量化や新聞・雑誌等の減少により横ばい状態が続いている。(環境課)

【施策方針】令和3(2021)年度の実績

○廃棄物の循環的利用の促進

- ・町内会に対し、資源物ステーションの補助を2件行った。(環境課)
- ・リサイクル意識の向上により、資源物リサイクルセンターの利用者数及び回収量が増加した。

区分	年度	H29(2017)	H30(2018)	R元(2019)	R2(2020)	R3(2021)
利用者数(人)	松波	176,574	166,918	166,439	150,004	150,191
	西本町	-	12,402	30,022	35,775	45,562
	合計	176,574	179,320	196,461	185,779	195,753
回収量(kg)	松波	987,932	909,773	908,694	729,251	744,681
	西本町	-	74,127	162,121	190,029	238,327
	合計	987,932	983,900	1,070,815	919,280	983,008

○3Rに関する意識啓発の推進

- ・町内会等が開催するふれあい講座を1回13人、小学生等の見学時において19回729人に3Rの意識啓発を行った。(環境課)
- ・地産地消をテーマに2月23日に料理講習会を開催し、20人が参加した。(市民活動支援課)
- ・市消費者協会の視察研修として、11月4日に十日町市松代再生古民家(ドイツ人建築デザイナーのカールベクスさんが経営するカフェ「澁い」と自宅のある竹所集落)の見学を行い、23人が参加した。(市民活動支援課)

取組の方向性(2)廃棄物の適正処理の推進

【目標指標】最終処分埋立量累計（埋立率）

基準値	目標値	実績	前年度実績
H29(2017)年度	R10(2028)年度	R3(2021)年度	R2(2020)年度
49,666 m ³ 48.7%	75,593 m ³ 74.1%	約 58,910 m³ (57.8%)	約 56,307 m ³ 55.2%

埋立最大容量 102,000 m³として計算。

【目標指標】廃棄物処理施設処理基準達成率（排出ガス基準・水質基準）

基準値	目標値	実績	前年度実績
H29(2017)年度	R10(2028)年度	R3(2021)年度	R2(2020)年度
排出ガス 100% 水質 100%	排出ガス 100% 水質 100%	排出ガス 100% 水質 100%	排出ガス 100% 水質 100%

【施策方針】令和 3(2021)年度の取組・実績

○廃棄物の処理過程の適正管理

- ・当初の予定では、埋立期間は平成 14（2002）年度～平成 28（2016）年度の 15 年間であったが、ごみの減量化に伴う埋立物の減少等で大幅な延命が図られている。（環境課）
- ・廃棄物の排出、分別ルールについて、市ホームページや、LINE など SNS を活用した周知を行った。また、窓口等において、各戸配布の分別ガイドブックの活用を促し、適正な分別となるよう努めた。
- ・多様化する廃棄物の品目に柔軟に対応できるよう、家庭ごみ、資源物の種類に応じて収集日を決め、収集カレンダーを作成し各戸へ配布した。また、市内を 17 地区に分割し柔軟でスムーズな収集となるよう努めた。
- ・廃棄物処理施設（ごみ処理場、最終処分場及びし尿処理場）の定期修繕（オーバーホール）を実施し、適正な廃棄物処理が行えるよう処理性能の維持に努めた。（環境課）

○廃棄物エネルギーの有効活用

- ・エネルギー回収型廃棄物処理施設（新ごみ処理場）の新設に向けて、生活環境影響調査と令和 4（2022）年度から 3 か年で実施する「新ごみ処理場建設・運営に係る事業者選定アドバイザー業務」の受託者選定の準備を行った。（環境課）



クリーンセンター見学の様子

●基本目標3 美しい自然と生活環境の維持保全
取組の方向性(1)美しい自然環境の維持保全

【目標指標】造林※事業面積（累計）

基準値 H29(2017)年度	目標値 R10(2028)年度	実績 R3(2021)年度	前年度実績 R2(2020)年度
292.3ha	1,069.3ha	599.1ha	518.9ha

※造林とは、下草刈りや伐採など含め、人の手が入った森林

【施策方針】令和3(2021)年度 of 取組・実績

○森林河川・里地里山や生物多様性の維持保全
<ul style="list-style-type: none"> ・間伐等の森林整備を実施した。（市有林 11.49ha、民有林 68.71ha）（農林水産課） ・有害鳥獣対策について、交付金を活用し、電気柵を 91,410m設置した。また、柏崎市有害鳥獣被害対策協議会が主催となり、農業者を中心に鳥獣の対策に関する講習会を 4 か所で実施した。（農政課）
○自然環境に関する市民学習の推進
<ul style="list-style-type: none"> ・市内の小学生を対象として、さけ学習を実施した。（6団体 265人）（農林水産課）

取組の方向性(2)不法投棄の防止と環境美化の推進

【目標指標】クリーンデー柏崎の参加率

基準値	目標値	実績	前年度実績
H29(2017)年度	R10(2028)年度	R3(2021)年度	R2 (2020)年度
前年度末人口の 28.4%	前年度末人口の 31.0%	20,354 人 (25.5%)	- 人 - %

※令和 2(2020)年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。

【施策方針】令和 3(2021)年度の取組・実績

○不法投棄対策

- ・不法投棄防止のため、啓発看板の設置及び広報かしわざき等で啓発を行った。
- ・警察等関係機関と連携し、指導や回収作業を実施した。(環境課)

(1) 不法投棄回収等職員出動件数 (単位: 件)

年 度	H29(2017)年度	H30(2018)年度	R 元(2019)年度	R2(2020)年度	R3(2021)年度
件 数	50	75	59	45	28

(2) 令和 3 (2021) 年度撤去した不法投棄の種類とその数量

家庭ごみ (袋)	空き缶・空き瓶(袋)	テレビ (台)	廃家電 (台)	家具類 (台)	布団・カーペット(枚)
45	28	0	13	17	12
自転車 (台)	金属くず (kg)	廃プラスチック (袋)	タイヤ (本)	その他 (袋)	
0	92	9	10	5	

○環境美化の推進

- ・クリーンデーについて、約 25.5%^{※1} の市民、272 町内会^{※2} が参加した。

※1 令和 3(2021)年度末人口 79,668 人

※2 6月6日は、190 町内会、6月6日以外は、82 町内会が実施 (環境課)
回収量: 燃やすごみ 61.74 t、燃やさないごみ 2.29 t、側溝汚泥 144.5 t



不法投棄

取組の方向性(3)公害防止対策の推進

【目標指標】環境基準の達成率（水質）

※国の示す水質汚濁に係る「環境基準」とは異なりますが、本市の基本計画では、海水浴場の水質調査を一つの指標として設定しています。

基準値 H29(2017)年度	目標値 R10(2028)年度	実績 R3(2021)年度	前年度実績 R2(2020)年度
100%	100%	100%	100%

海水浴場開設前の水質調査結果により、「適している」と判断されたものを掲載。

(1) 海水浴場測定結果（開設前）

海水浴場	石地	大崎	長浜	高浜	中央	番神	東の輪	鯨波	薬師堂	笠島	米山
判定	AA	AA	AA	AA	AA	AA	AA	AA	AA	A	AA

(参考) 水浴場の水質の判定基準

区分		COD	ふん便性大腸菌群数	油膜の有無	透明度
適	水質AA	2mg/L以下 (湖沼は3mg/L以下)	不検出 (検出限界2個/100mL)	認められない	全透(1m以上)
	水質A	2mg/L以下 (湖沼は3mg/L以下)	100個/100mL以下	認められない	全透(1m以上)
可	水質B	5mg/L以下	400個/100mL以下	常時は認められない	1m未満～50cm以上
	水質C	8mg/L以下	1,000個/100mL以下	常時は認められない	1m未満～50cm以上
不適		8mg/L超	1,000個/100mL を超えるもの	常時認められる	50cm未満

(2) 河川水質評価基準

No.	河川名	測定地点	類型	pH	D0 (mg/L)	BOD (mg/L)	SS (mg/L)	大腸菌群数 (MPN/100mL)
1	鯖石川	山根橋	A類型	7.3	10.8	0.8	29.9	7.2×10^4
2		天保橋	B類型	7.3	10.7	1.1	25.4	3.7×10^4
3		安政橋	C類型	7.4	9.9	1.3	36.2	-
4	鵜川	野田大橋	A類型	7.5	10.8	0.8	13.2	3.2×10^4
5		八坂橋	B類型	7.3	9.9	0.7	6.6	4.1×10^4

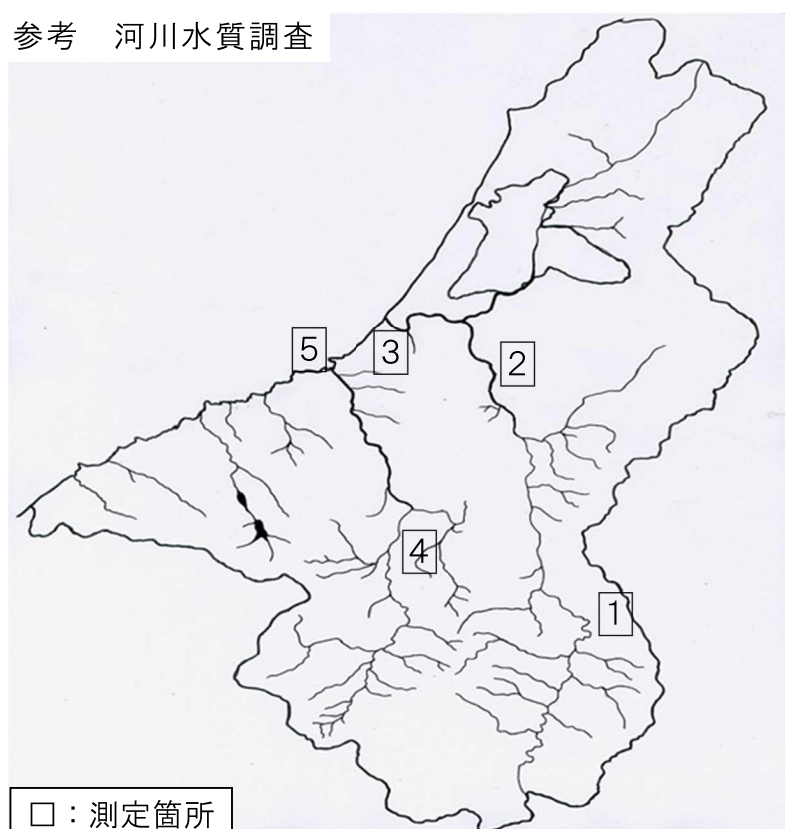
※令和3(2021)年度から、鯖石川の測定地点「なごみ橋」及び鵜川の測定地点「御幸橋」は、観測地点から除外された。

(参考)

項目		pH	D0 (mg/L)	BOD (mg/L)	SS (mg/L)	大腸菌群数 (MPN/100mL)
類型						
A	鯖石川：安田より上流	6.5 以上	7.5mg/L 以上	2mg/L 以下	25mg/L 以下	1,000 以下
	鵜川：新道より上流	8.5 以下				
B	鯖石川：安田～中田	6.5 以上	5 mg/L 以上	3mg/L 以下	25mg/L 以下	5,000 以下
	鵜川：新道～河口	8.5 以下				
C	鯖石川：中田～河口	6.5 以上 8.5 以下	5 mg/L 以上	5mg/L 以下	50mg/L 以下	—

(3) 主要河川水質調査 新潟県調査分

参考 河川水質調査



【目標指標】環境基準の達成率（騒音）

基準値 H29(2017)年度	目標値 R10(2028)年度	実績 R3(2021)年度	前年度実績 R2(2020)年度
100%	100%	100%	100%

環境騒音 13 か所及び北陸自動車道沿道 10 か所を測定による状況把握を行った。全ての地点で昼夜とも環境基準を達成した。（環境課）

（１）環境騒音測定結果（上段：昼 下段：夜）

番号	測定地	環境基準	環境基準	測定値	番号	測定地	環境基準	環境基準	測定値
		法区域区分	(dB)	R3 年度			法区域区分	(dB)	R3 年度
1	宮場町 枇杷島コミセン	A	55	48	8	米山台 1 丁目 トップテリアタミ	B・幹線	70	65
		2	45	39			2	65	63
2	北園町 公営住宅集会所	A	55	42	9	桜木町 K 宅	B	65	63
		2	45	37			2	60	52
3	新赤坂 2 丁目 K 宅	A・幹線	70	68	10	三和町 柏崎総合庁舎	C	60	56
		1	65	64			4	50	49
4	松波 2 丁目 S 宅	A・幹線	70	65	11	豊町 柏崎総合福祉センター	C	60	48
		2	65	57			4	50	39
5	西本町 3 丁目 喬柏園	B	55	43	12	鏡町 柏崎地域振興局	C・幹線	70	58
		2	45	42			3	65	54
6	中央町 旧柏崎市役所	B	55	43	13	諏訪町 太刀川薬品	C・幹線	70	66
		2	45	38			3	65	56
7	両田尻 T 宅	B 幹線	70	63					
		2	65	55					

（２）北陸自動車道の沿道騒音測定結果

調査地点			昼 間		夜 間	
環境基準類型	法区域区分	地点名	環境基準	測定結果	環境基準	測定結果
B に相当	未指定	南半田① H 宅	65	52	60	50
		南半田② K 宅		57		54
		下方 T 宅		52		50
		西山町北野 I 宅		53		51
		藤井 M 宅		55		53
		下田尻 U 宅		53		48
		茨目 M 宅		49		49
		向陽町 T 宅		59		54
		米山町 T 宅		52		50
C 地域	3 種	上田尻 Y 宅	65	49	60	48

【施策方針】令和3(2021)年度の取組・実績

○大気・水質・騒音・振動・悪臭等の監視、指導

- ・苦情対応として現地調査、指導を20件実施した。(環境課)

過去5年間の公害苦情等種類別発生件数(単位:件)

年度 種別	H29(2017)	H30(2018)	R元(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R3(2021)年度 増減数
大気	5	6	4	0	0	0
水質	1	2	0	4	1	-3
騒音	6	7	5	6	11	5
振動	1	1	0	1	2	1
悪臭	4	8	8	5	6	1
その他	0	3	3	5	0	-5
合計	17	27	20	21	20	-1

○地盤沈下対策

- ・地下水観測用井戸6本による調査を実施した結果、周辺家屋等への影響はないことが確認された。
- ・市内28km内の96測量点で地盤沈下監視用2級水準測量を実施した結果、R元(2019)~R3(2021)年度の最大沈下量は柏崎新橋で2.1cmであった。※この調査は隔年で実施している。